

令和2年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心

稲沢市消防本部

目 次

稲沢市管内概要	1
緊急出動概況	2
119番受信概況	4
訓練指導及び調査概況	5
予防概況	7

火災

火災概況	10
年別出火件数・年別損害額	11
署別出火件数・月別出火件数	12
曜日別出火件数・時間別出火件数	13
火災による死傷者数	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移	15

救急

救急概況	16
種別ごとの救急出場件数	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	19
傷病程度別搬送人員	20
収容所要時間別搬送人員	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員	22

救助

救助概況	23
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

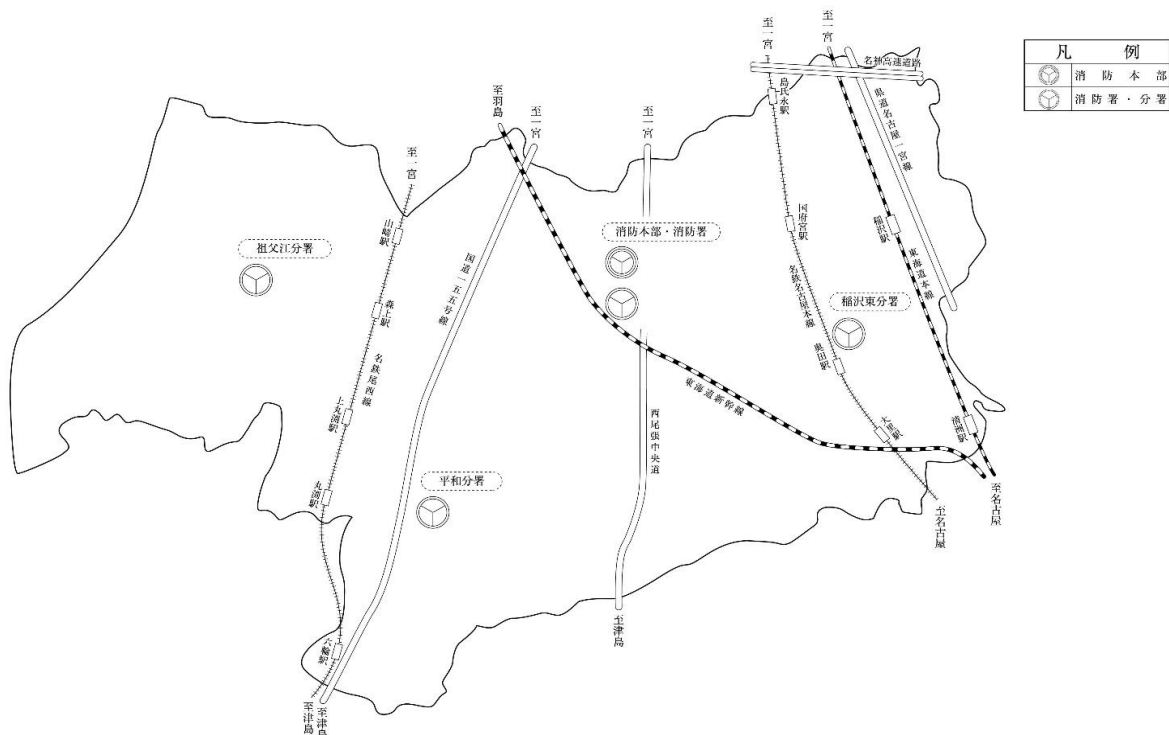
令和3年1月1日現在

区 分	面積(k m ²)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲 沢 市	79.35	67,603	68,634	136,237	55,557

消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名 称	所 在 地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

消防本部・消防署配置図



緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり7,099件で、前年と比較して809件減少している。

1日当りの平均出動件数は約19件となっている。

また、火災、救急及び救助出動以外に1,352件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が5,565件(78.4%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,112件(15.6%)、警戒出動が240件(3.4%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況 (件)

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
本署	令和元年	36	1,589	70	72	339	2,106	26.6
	令和2年	32	1,432	54	82	275	1,875	26.4
稲沢東分署	令和元年	26	2,831	30	47	495	3,429	43.4
	令和2年	23	2,425	20	58	458	2,984	42.0
祖父江分署	令和元年	16	887	12	40	152	1,107	14.0
	令和2年	9	807	12	49	173	1,050	14.8
平和分署	令和元年	21	1,009	18	32	186	1,266	16.0
	令和2年	21	901	11	51	206	1,190	16.8
合計	令和元年	99	6,316	130	191	1,172	7,908	100
	比率(%)	1.2	79.9	1.6	2.4	14.9		
	令和2年	85	5,565	97	240	1,112	7,099	100
	比率(%)	1.2	78.4	1.4	3.4	15.6		

(注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。

2 「救急支援出動」とは、119番通報時の救急要請において心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要と判断されたときに、消防隊を出動させるものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおりである。

火災、救急及び救助出動以外は、救急支援出動が月平均で約93件、警戒出動が月平均で20件出動している。

第2表 月別緊急出動状況 (件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	3	4	5	2	1	2	1	3	4	3	1	3	32	85
	稲沢東分署		2	2		2	1	1	2	5	4	1	3	23	
	祖父江分署		1	2	3		1		1			1		9	
	平和分署	2	1	4	2	1	1		4	1	1	2	2	21	
	小計	5	8	13	7	4	5	2	10	10	8	5	8	85	
救急	本署	134	118	104	104	131	101	121	137	125	107	120	130	1,432	5,565
	稲沢東分署	219	221	216	168	134	202	212	224	198	219	215	197	2,425	
	祖父江分署	83	78	52	54	46	65	74	99	64	66	56	70	807	
	平和分署	90	62	71	71	64	80	75	92	78	77	67	74	901	
	小計	526	479	443	397	375	448	482	552	465	469	458	471	5,565	
救助	本署	7	2	3	4	5	2	3	4	6	6	6	6	54	97
	稲沢東分署	3	1			2		1	2	2	3	3	3	20	
	祖父江分署	1				2	2	1		3	2	1		12	
	平和分署	2		2	2			1	1	1	1		1	11	
	小計	13	3	5	6	9	4	6	7	12	12	10	10	97	
警戒	本署	8	6	7	5	6	3	4	11	9	12	7	4	82	240
	稲沢東分署	4	5	3	4	3	5	3	7	7	9	4	4	58	
	祖父江分署	5	4	4	8	2	2		2	5	4	5	8	49	
	平和分署	4	1		4	10	3	6	6	4	1	6	6	51	
	小計	21	16	14	21	21	13	13	26	25	26	22	22	240	
救急支援	本署	31	16	36	18	11	14	19	31	22	23	21	33	275	1,112
	稲沢東分署	38	36	40	44	42	35	32	35	43	39	38	36	458	
	祖父江分署	17	21	14	11	5	9	13	24	9	20	10	20	173	
	平和分署	32	15	16	15	10	16	16	22	13	16	19	16	206	
	小計	118	88	106	88	68	74	80	112	87	98	88	105	1,112	
合計		683	594	581	519	477	544	583	707	599	613	583	616	7,099	

119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり7,580件で、前年と比較して759件減少している。1日当たりの平均受信件数は20.7件で、前年より2件減少している。減少した理由としては、火災、救急、救助件数が減少したためである。

119番受信区分では、固定電話からが4,073件で53.7%、携帯電話からが3,507件で46.3%となっている。

第1表 119番受信状況 (件)

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
平成30年	固定電話	39	3,467	15	1,254	4,775
	携帯電話	100	2,608	59	848	3,615
	合計	139	6,075	74	2,102	8,390
令和元年	固定電話	26	3,455	16	1,131	4,628
	携帯電話	65	2,658	43	945	3,711
	合計	91	6,113	59	2,076	8,339
令和2年	固定電話	19	2,973	13	1,068	4,073
	携帯電話	52	2,414	32	1,009	3,507
	合計	71	5,387	45	2,077	7,580

※「その他」は、警戒、訓練通報、間違い、病院問い合わせ等

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計863件で、前年と比較して1,159件減少している。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、消防団訓練指導におけるポンプ車操法指導を中止としたことをはじめ、各種訓練指導及び普通救命講習会の実施件数は例年より大幅に減少した。

訓練指導及び調査件数を種別ごとに見ると、地理水利調査が335件(38.8%)、次いで住宅防火査察が186件(21.6%)、事業所の訓練指導は106件(12.3%)の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計147団体(17.0%)に対して訓練指導を実施した。

第1表 訓練指導及び調査状況

(件)

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	住宅防火査察	住宅用火災警報器 アンケート調査	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率(%)
本署	令和元年	42	33	44	48	60	16	345	/	60	4	1	653	32.3
	令和2年	2	7	64	9	10	17	74	43	83	2	1	312	36.2
稲沢東分署	令和元年	82	31	62	19	23	5	415	/	73	2	1	713	35.3
	令和2年	0	4	21	7	2	4	68	51	95	1	0	253	29.3
祖父江分署	令和元年	45	6	13	13	4	0	181	/	71	7	0	340	16.8
	令和2年	0	1	6	4	0	1	29	29	83	0	0	153	17.7
平和分署	令和元年	27	14	37	14	6	3	150	/	63	1	1	316	15.6
	令和2年	0	2	15	7	0	3	15	26	74	3	0	145	16.8
合計	令和元年	196	84	156	94	93	24	1,091	/	267	14	3	2,022	100
	比率(%)	9.7	4.2	7.7	4.6	4.6	1.2	54.0		13.2	0.7	0.1		
	令和2年	2	14	106	27	12	25	186	149	335	6	1	863	100
	比率(%)	0.2	1.6	12.3	3.1	1.4	2.9	21.6	17.3	38.8	0.7	0.1		

(注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。

(注) 2 住宅防火査察の数値については、調査した戸数をいう。

(注) 3 住宅防火査察は、80歳以上の1人暮らしの高齢者を対象に実施をした。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。

今年の訓練指導及び普通救命講習会等の実施については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、緊急事態宣言が発出されるなどの感染状況に応じて、消防署で指導する内容や時期を考慮したため、4月から5月までは例年より大幅に減少した。

住宅防火査察については、令和2年1月まで実施した後、令和2年11月からは事業内容を住宅用火災警報器アンケート調査として実施した。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(件)

種別・署別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	合計
消防団	訓練指導												2	2	2
	本署												2	2	
	稲沢東分署													0	
	祖父江分署													0	
	平和分署													0	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
自主防災会	訓練指導														14
	本署		1									2	4	7	
	稲沢東分署	2								1		1		4	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署											1	1	2	
小計	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	7	1	14	
事業所	訓練指導														106
	本署	1	1				4	11	1	4	15	16	11	64	
	稲沢東分署	3	3		1		2			3	3	5	1	21	
	祖父江分署					1	2					1	2	6	
	平和分署		2			1	1		2	1	1	3	4	15	
小計	4	6	0	1	2	9	11	3	8	19	25	18	106		
教育機関	訓練指導														27
	本署	1	1					2			5			9	
	稲沢東分署										5		2	7	
	祖父江分署										2	2		4	
	平和分署	1									2	4		7	
小計	2	1	0	0	0	0	2	0	0	14	6	2	27		
普通救命講習会	講習会														12
	本署	2	3					1				2	2	10	
	稲沢東分署	2												2	
	祖父江分署													0	
	平和分署													0	
小計	4	3	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	12		
消防署見学	見学														25
	本署	2	3								7	3	2	17	
	稲沢東分署	2	1									1		4	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署	1	1								1			3	
小計	5	5	0	0	0	0	0	0	0	8	5	2	25		
住宅防火査察	査察														186
	本署	74												74	
	稲沢東分署	68												68	
	祖父江分署	29												29	
	平和分署	15												15	
小計	186	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186		
住宅用火災警報器アンケート調査	調査														149
	本署											1	42	43	
	稲沢東分署												51	51	
	祖父江分署												29	29	
	平和分署												26	26	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	148	149		
地理水利調査	調査														335
	本署	1	14	11	4	4	14	12	6	8	2	6	1	83	
	稲沢東分署	8	17		1	18	18	5	5	2		12	9	95	
	祖父江分署	5	6	7	7	9	9	8	2	13	6	10	1	83	
	平和分署	5	6	5	11	9	8	8	1	5	11	2	3	74	
小計	19	43	23	23	40	49	33	14	28	19	30	14	335		
枯草調査	調査														6
	本署	1									1			2	
	稲沢東分署												1	1	
	祖父江分署													0	
	平和分署		1	2										3	
小計	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	
はしご車	接梯調査														1
	本署								1					1	
	稲沢東分署													0	
	祖父江分署													0	
	平和分署													0	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
合計	223	60	25	24	42	58	47	18	37	65	77	38		863	

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均1.2件であり、届出状況をみると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,674件（37.3%）で、次いで道路工事届出書が1,038件（23.2%）となっている。

なお、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、届出の一部は電子メールや郵送による受付を実施している。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	161	3.6
消 防 用 設 備 等（特 殊 消 防 用 設 備 等）設 置 届 出 書	193	4.3
消 防 用 設 備 等（特 殊 消 防 用 設 備 等）点 検 結 果 報 告 書	1,674	37.3
防 火 管 理 者 選 任（解 任）届 出 書	209	4.7
消 防 計 画 作 成（変 更）届 出 書	240	5.4
道 路 工 事 届 出 書	1,038	23.2
消 防 職 員 の 派 遣・指 導・消 防 訓 練 実 施 届 出 書	655	14.6
変 電・蓄 電・発 電 設 備 設 置 届 出 書	53	1.2
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	19	0.4
催 物 開 催 届 出 書	2	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	11	0.2
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	40	0.9
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	109	2.4
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	44	1.0
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	34	0.7
合 計	4,482	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。

第2表 区分別消防同意状況 (件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	13	9	14	11	4	8	5	5	12	11	6	14	112	76.7
増 築	2	5	4	5	1	2	3	3	4	2	2	1	34	23.3
改 築													0	0
用 途 変 更													0	0
そ の 他													0	0
合 計	15	14	18	16	5	10	8	8	16	13	8	15	146	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況 (件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	3	2	4	3	1	4	5	3	5	3	4	7	44	19.7
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備			1		1		1						3	1.4
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		3	2				1				1		7	3.1
	屋 外 消 火 栓 設 備		1		1		1				1	1		5	2.2
	泡 消 火 設 備													0	0
	粉 末 消 火 設 備													0	0
	ガ ス 消 火 設 備													0	0
	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備										1			1	0.4
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	3	3	5	7	4	7	8	7	3	11	8	14	80	35.9
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	1	3	3	1		2					1	3	14	6.3
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備	2								2		2		6	2.7
	非 常 放 送 設 備	1						1		1	2	1	2	8	3.6
	漏 電 火 災 警 報 器													0	0
避 難 設 備	避 難 器 具	2						1						3	1.4
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	4	3	5	2	2	2	4	5	5	3	4	9	48	21.5
そ の 他	消 防 用 水	2												2	0.9
	連 結 送 水 管	1									1			2	0.9
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備													0	0
	排 煙 設 備													0	0
合 計	19	15	20	14	8	16	21	15	16	22	22	35	223	100	

危険物製造所等は289施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況 (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許 可	設 置		2			1								3
	変 更		4			1					9		33	47
仮 使 用 承 認			3							8			32	43
完成検査	設 置		2			1							1	4
	変 更		3			1				9			32	45
予 防 規 程 認 可										6				6
軽 微 な 工 事 届			5							14			29	48
品名・数量・倍数変更届			9										2	11
保安監督者選任・解任届			15	7		3				6			9	40
廃 止 届			1	1	2			1						5
合 計		0	44	8	2	7	0	1	0	52	0	0	138	252

火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は45件で3件減少し、損害額は大幅に減少しているが、建物火災は3件増加している。

火災種別ごとでみると、建物火災が23件で、全体の51.1%と最も高くなっている。

第1表 令和2年中の火災状況と前年との比較

区 分	単 位	令和2年(A)	令和元年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	45	48	-3
建物火災		23	20	3
車両火災		4	8	-4
その他の火災		18	20	-2
焼損棟数	棟	31	23	8
全焼		9	2	7
半焼		1	1	0
部分焼		11	9	2
ぼや		10	11	-1
建物焼損床面積	m ²	598	851	-253
死者	人	0	2	-2
負傷者		3	7	-4
り災世帯	世帯	10	16	-6
り災人員	人	25	33	-8
損害額	千円	41,682	477,993	-436,311
建物火災		40,846	473,547	-432,701
車両火災		776	3,898	-3,122
その他の火災		60	548	-488
出火率	%	3.3	3.5	-0.2

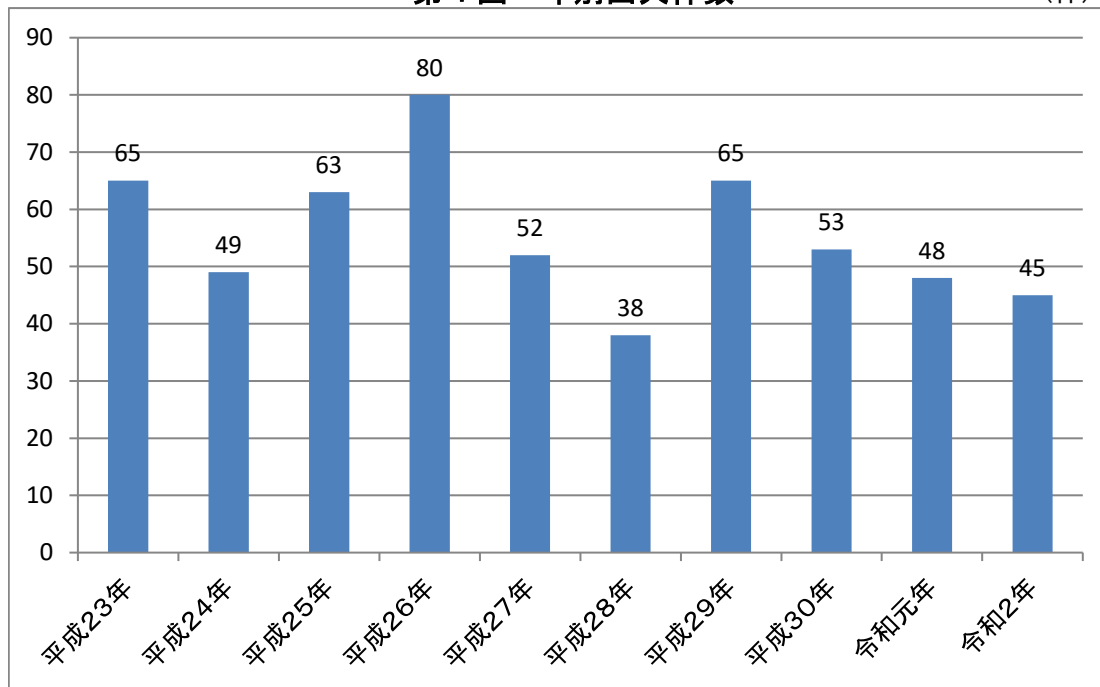
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。

年別出火件数

過去10年間の出火件数の推移をみると第1図のとおり、平成26年の出火件数が80件と最も多くなっており、最も少ない年は平成28年で38件である。

令和2年の1日当たりの出火件数は0.12件であり、約8日に1件の割合で火災が発生したことになる。

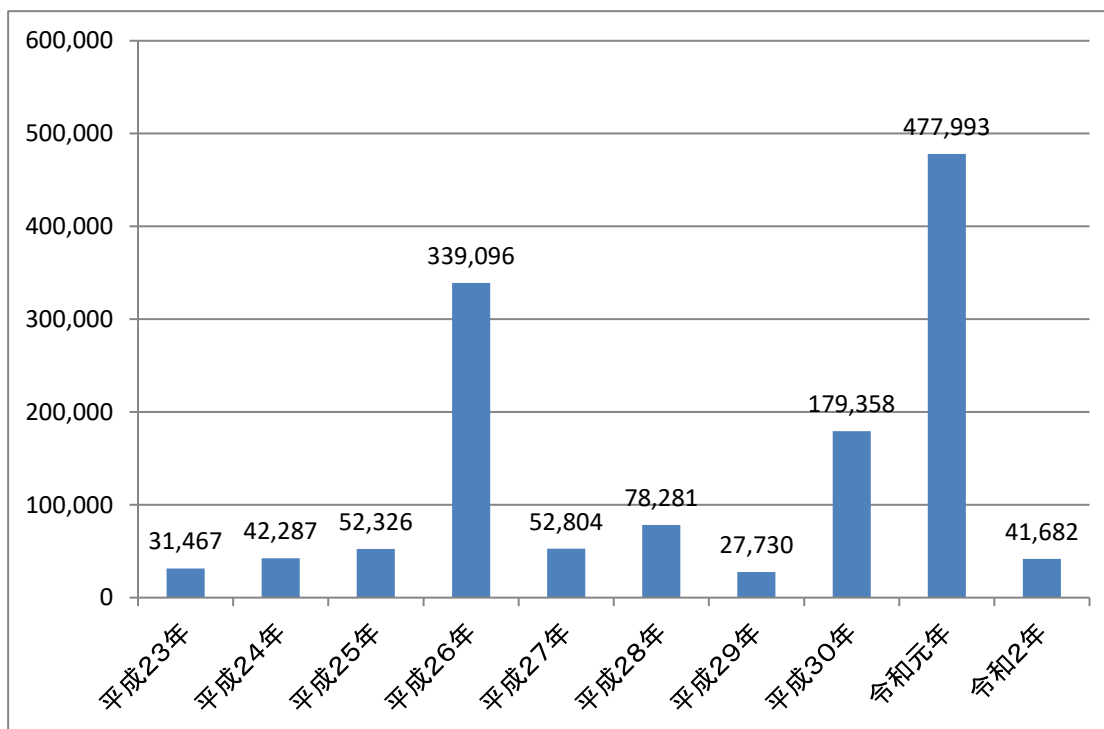
第1図 年別出火件数 (件)



年別損害額

過去10年間の損害額の推移をみると第2図のとおり、令和元年の損害額が477,993千円と最も多く、令和2年は41,682千円で3番目に少なくなっている。

第2図 年別損害額 (千円)



署別出火件数

出火件数の45件を署別にみると第2表のとおり、本署が15件と最も多く、次いで平和分署の13件、稲沢東分署の12件、祖父江分署の5件の順となっている

署別出火件数を前年と比較すると、本署、祖父江分署及び稲沢東分署で減少し、全体数についても、3件減少し、6.3%の減少率となっている。

第2表 署別出火件数前年比較

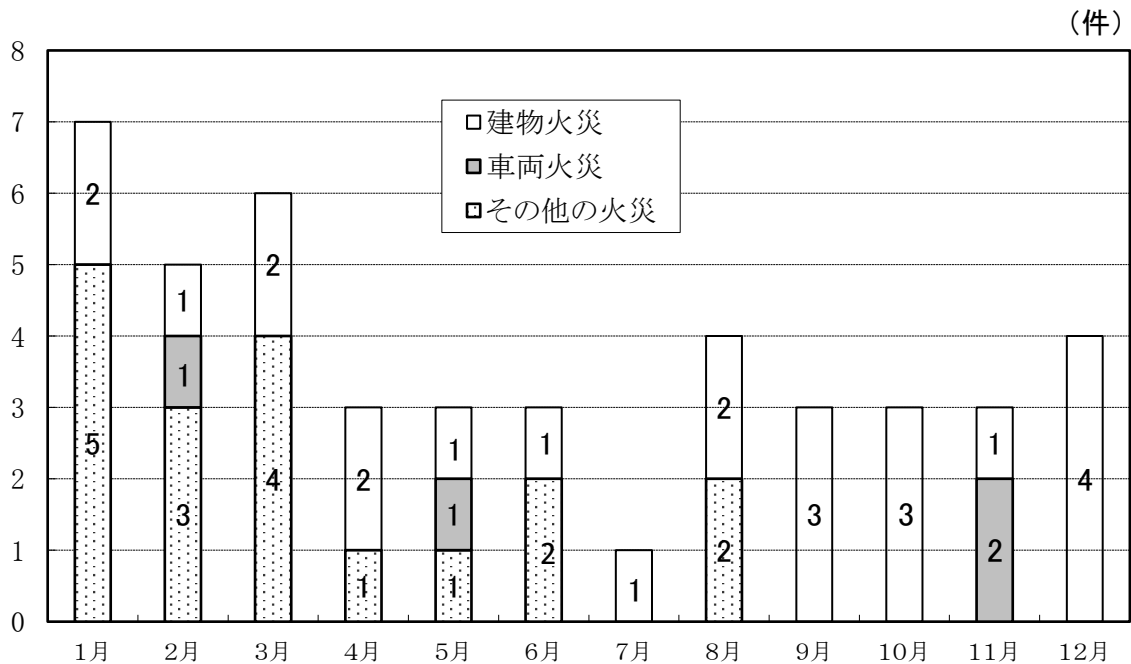
	令和2年(A) 出火件数	令和元年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	15	16	-1	-6.3
稲沢東分署	12	15	-3	-20.0
祖父江分署	5	9	-4	-44.4
平和分署	13	8	5	62.5
合計	45	48	-3	-6.3

月別出火件数

出火件数の45件を月別にみると第3図のとおり、7月が1件と最も少なく、1月が7件と最も多く出火した。

火災種別ごとにみると建物火災は12月が4件、車両火災は11月に2件、その火災は1月に5件と最も多く出火している。

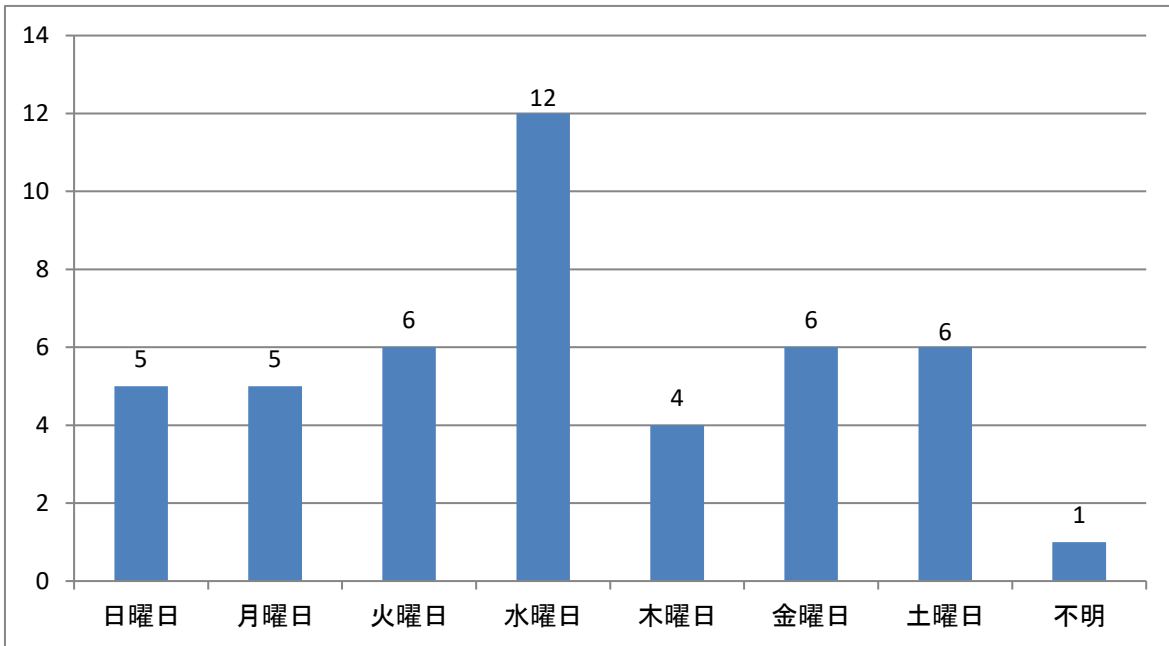
第3図 月別出火件数



曜日別出火件数

出火件数の45件を曜日別にみると第4図のとおり、水曜日が12件と最も多く出火した。

第4図 曜日別出火件数 (件)

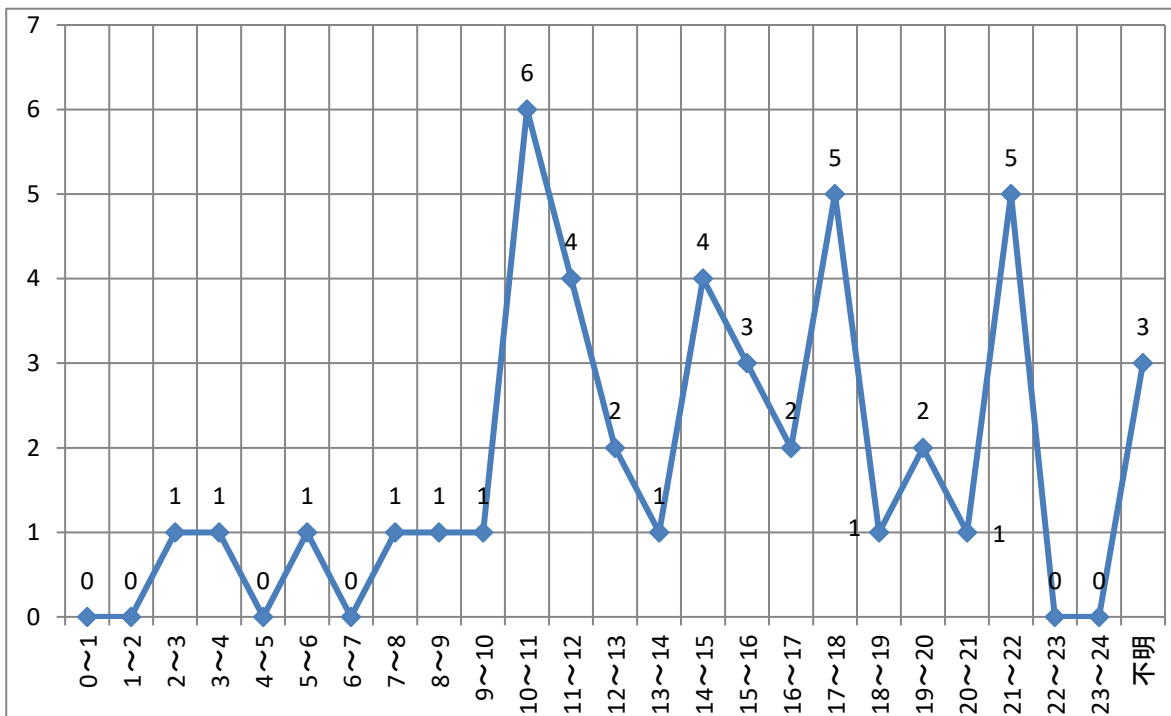


時間別出火件数

出火件数の45件を時間別にみると第5図のとおり、10時から11時までが最も多く6件出火している。

深夜から早朝にかけての時間帯は出火件数は少ない。

第5図 時間別出火件数 (件)



火災による死傷者数

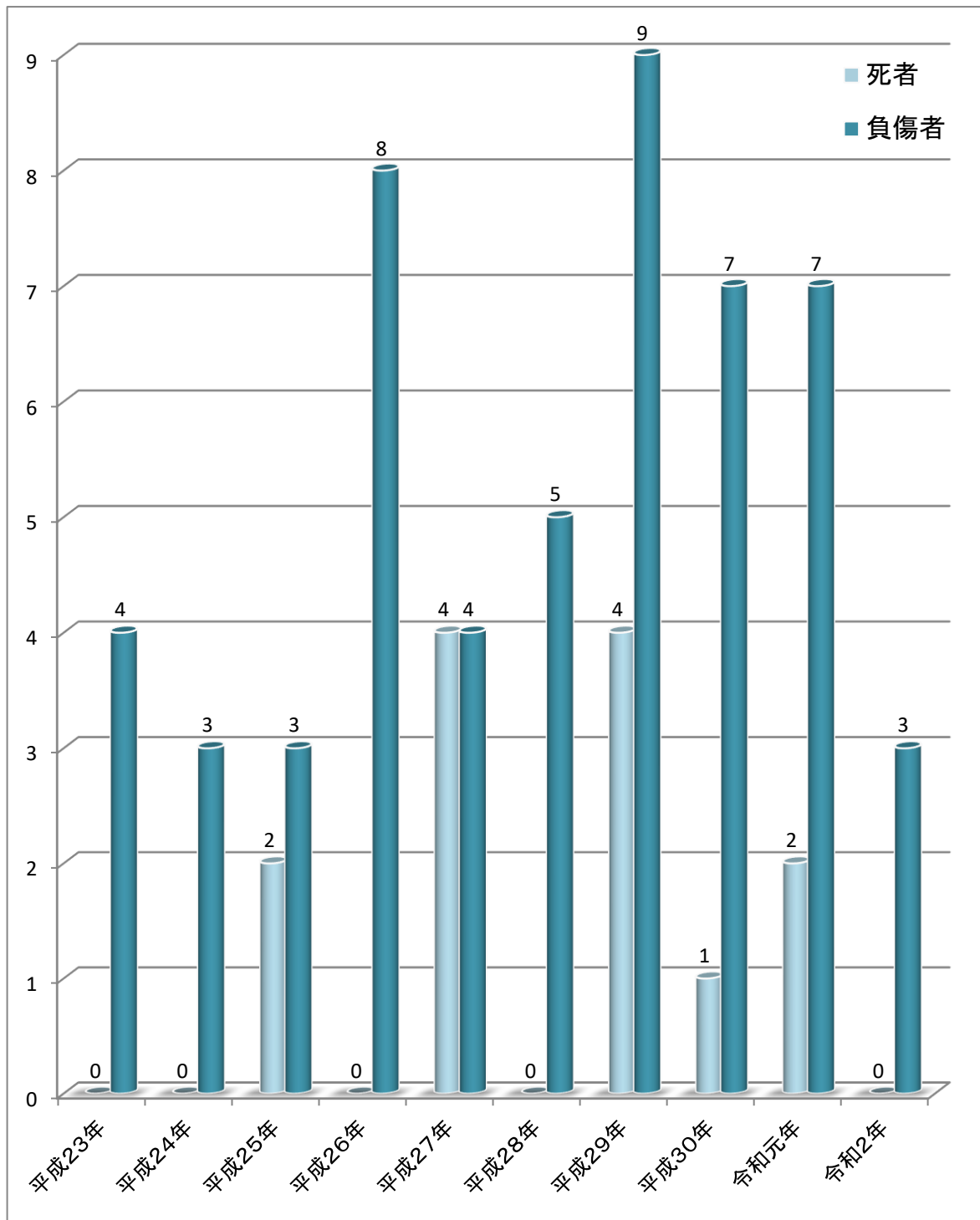
令和2年の火災による死傷者発生状況については、死者0人、負傷者3人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年及び平成29年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は平成29年が9人と最も多く、次いで平成26年の8人の順となっている。

第6図 年別死傷者数

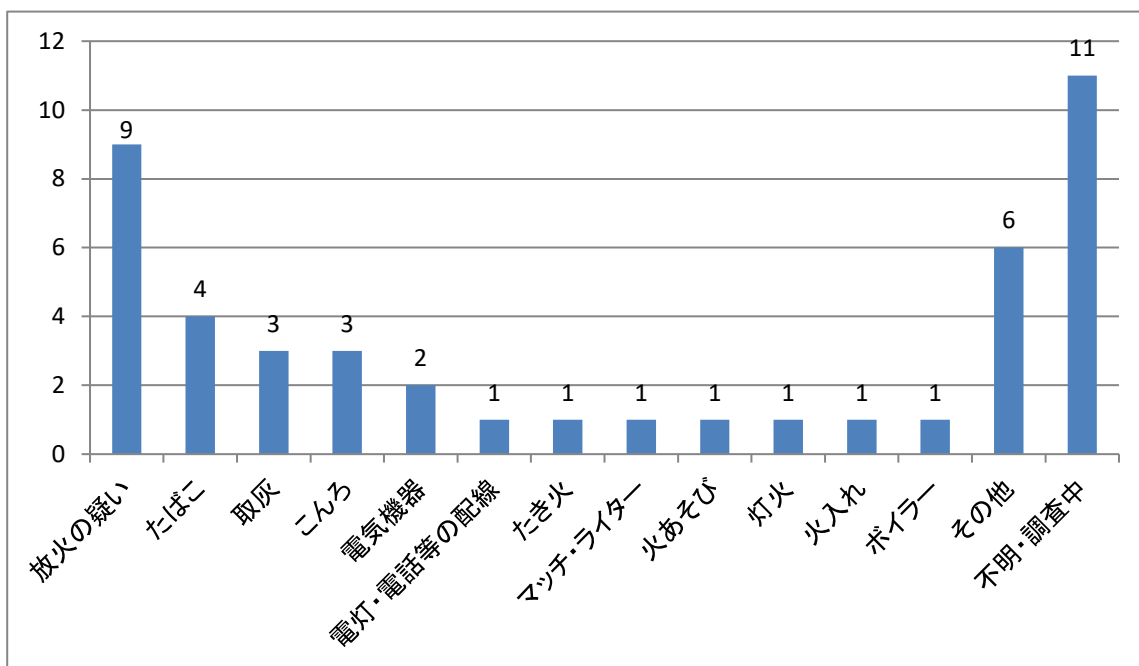
(人)



出火原因別出火件数

出火件数の45件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火の疑いによる火災が9件と多く発生し、全体の20%を占めている。

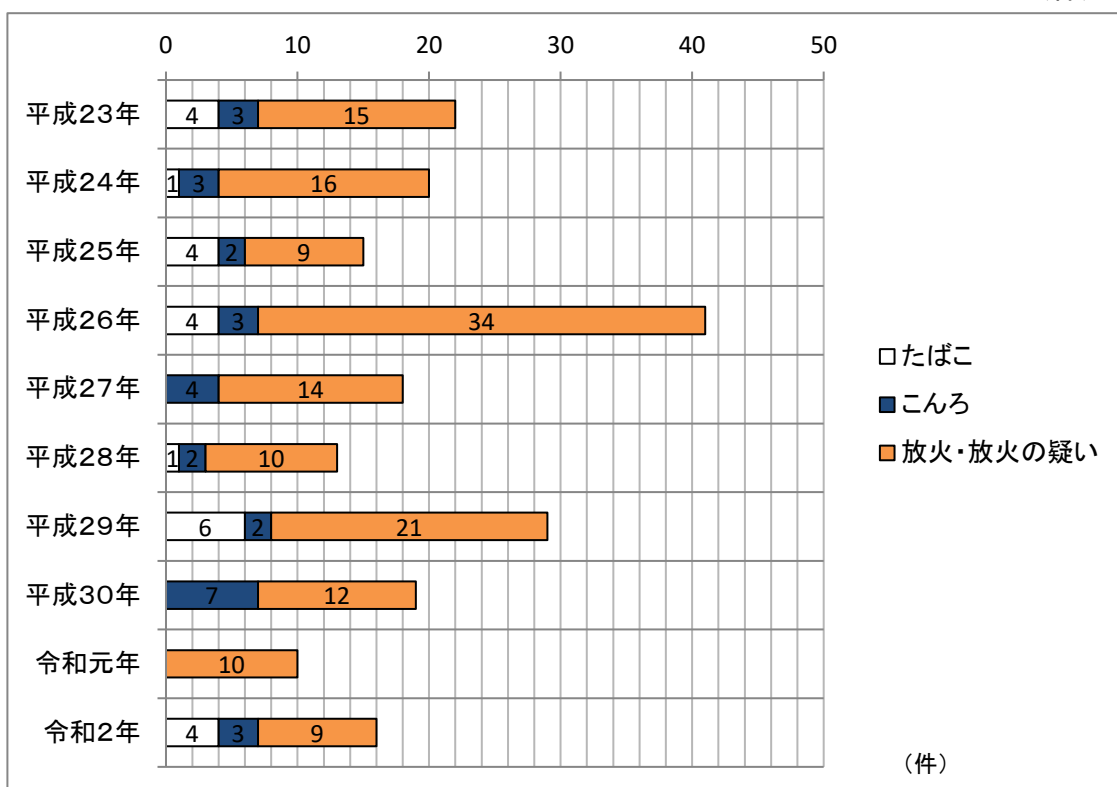
第7図 出火原因別出火件数 (件)



出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、毎年、放火・放火の疑いによるものが出火原因のトップを占め、平成26年が34件と最も多く発生している。

第8図 出火原因の推移 (件)



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は5,565件で前年と比較して751件減少している。1日当りの平均出場件数は、約15件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は5,376人で前年と比較して731人減少している。

なお、当消防本部管内の住民約25人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

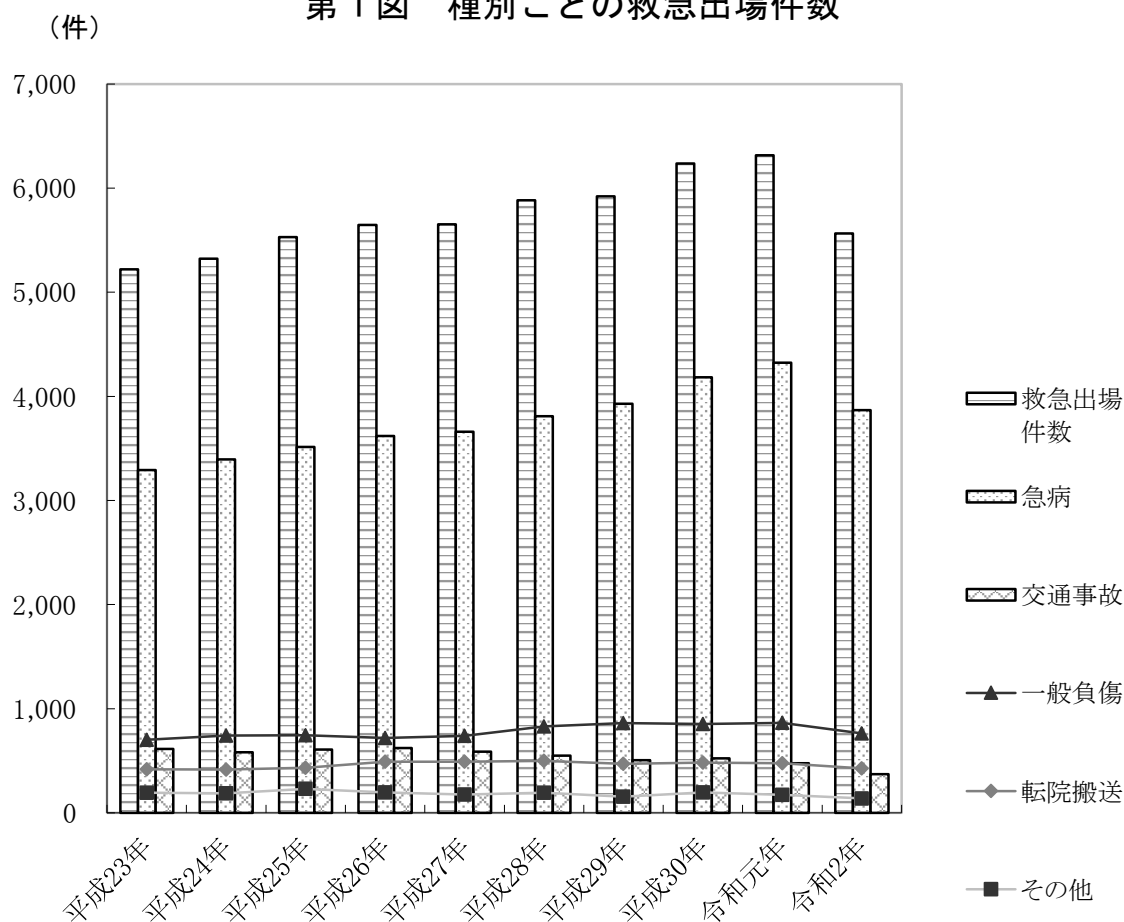
第1表 救急業務実施状況

事故種別 署別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合	
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	他	計	
本 署	令和元年	件数	12			143	15	7	214	3	11	1,114	70	1,589
		人員	3			146	15	6	207	3	9	1,052	70	1,511
	令和2年	件数	13		1	114	15	2	190	2	5	1,022	68	1,432
		人員				139	15	2	188	2	5	976	68	1,395
稲 沢 東 分 署	令和元年	件数	11			205	32	12	385	6	22	1,914	244	2,831
		人員	3			212	32	12	381	6	21	1,845	244	2,756
	令和2年	件数	8			147	28	4	324	7	11	1,687	209	2,425
		人員	2			136	28	4	313	5	7	1,609	210	2,314
祖 父 江 分 署	令和元年	件数			1	58	4	4	120		10	590	100	887
		人員				61	4	4	119		7	571	100	866
	令和2年	件数	1			42	5	2	115	1	6	533	102	807
		人員				43	5	2	114	1	1	514	103	783
平 和 分 署	令和元年	件数	2			72	10	4	145	1	7	705	63	1,009
		人員	1			79	10	4	142	1	5	669	63	974
	令和2年	件数	1			68	14	5	133	1	7	625	47	901
		人員				74	14	5	131	1	5	607	47	884
合 計	令和元年	件数	25	0	1	478	61	27	864	10	50	4,323	477	6,316
		人員	7	0	0	498	61	26	849	10	42	4,137	477	6,107
	令和2年	件数	23	0	1	371	62	13	762	11	29	3,867	426	5,565
		人員	2	0	0	392	62	13	746	9	18	3,706	428	5,376

種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数の推移を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおり増加傾向にあった救急出場件数は、令和2年は前年の出場件数を約12%下回った。また、令和2年と平成23年を比較すると、交通事故の件数が約40%減少した。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

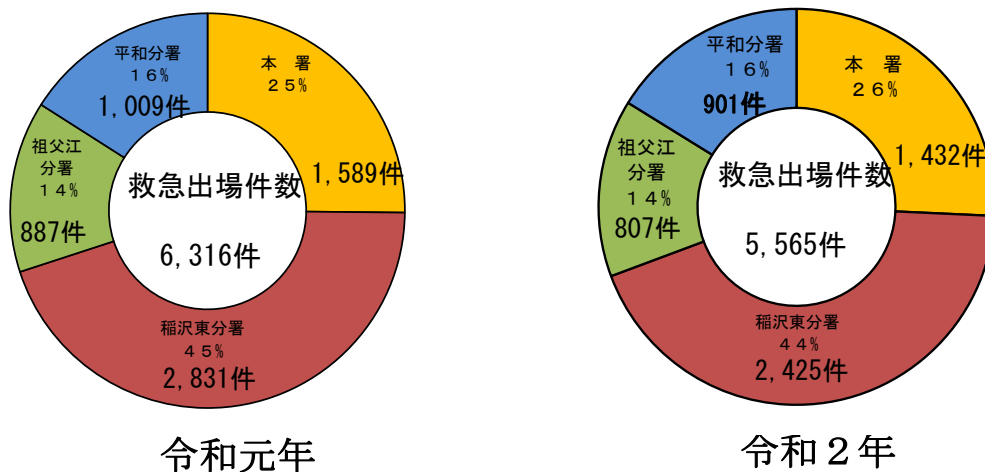
種別 \ 年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
救急出場件数	5,221	5,323	5,531	5,647	5,653	5,884	5,923	6,238	6,316	5,565
急病	3,294	3,396	3,514	3,621	3,661	3,810	3,928	4,184	4,323	3,867
交通事故	615	581	608	622	587	551	507	522	478	371
一般負傷	702	742	745	719	739	830	862	854	864	762
転院搬送	418	416	434	490	490	499	470	482	477	426
その他	192	188	230	195	176	194	156	196	174	139

署別救急出場件数

救急出場件数 5,565 件を署別に見ると第 2 図のとおり稲沢東分署が 2,425 件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、本署は 157 件、稲沢東分署は 406 件、祖父江分署は 80 件、平和分署は 108 件の減少で、合計 751 件の減少となった。

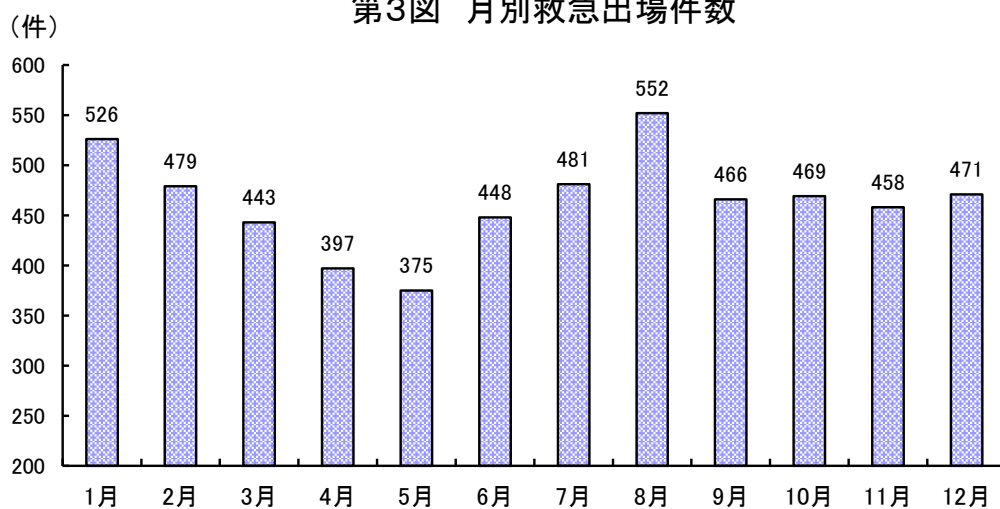
第 2 図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

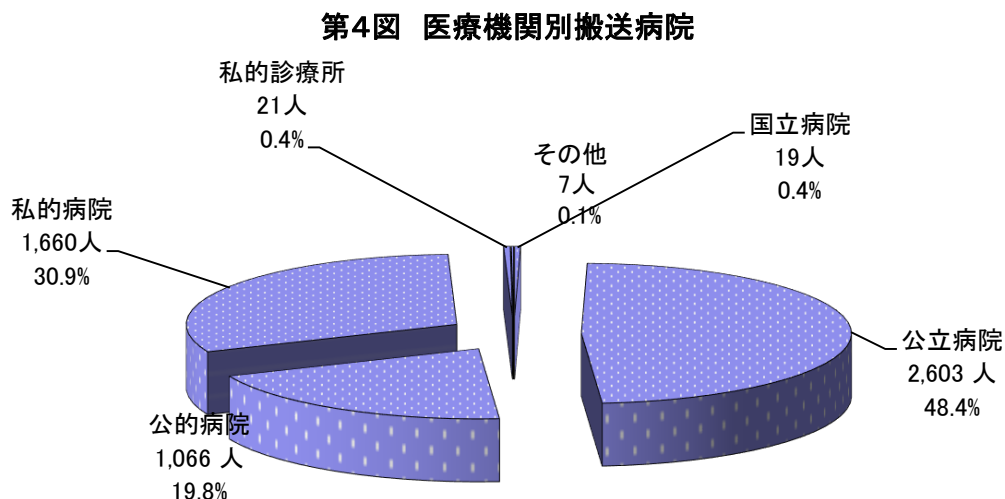
救急出場件数 5,565 件を月別に見ると、第 3 図のとおり、8 月が 552 件と最も多く、次いで 1 月、7 月の順となっている。最も少なかったのが 5 月の 375 件で、月平均にすると約 464 件となる。

第 3 図 月別救急出場件数



医療機関別搬送人員

搬送された5,376人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が2,603人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。

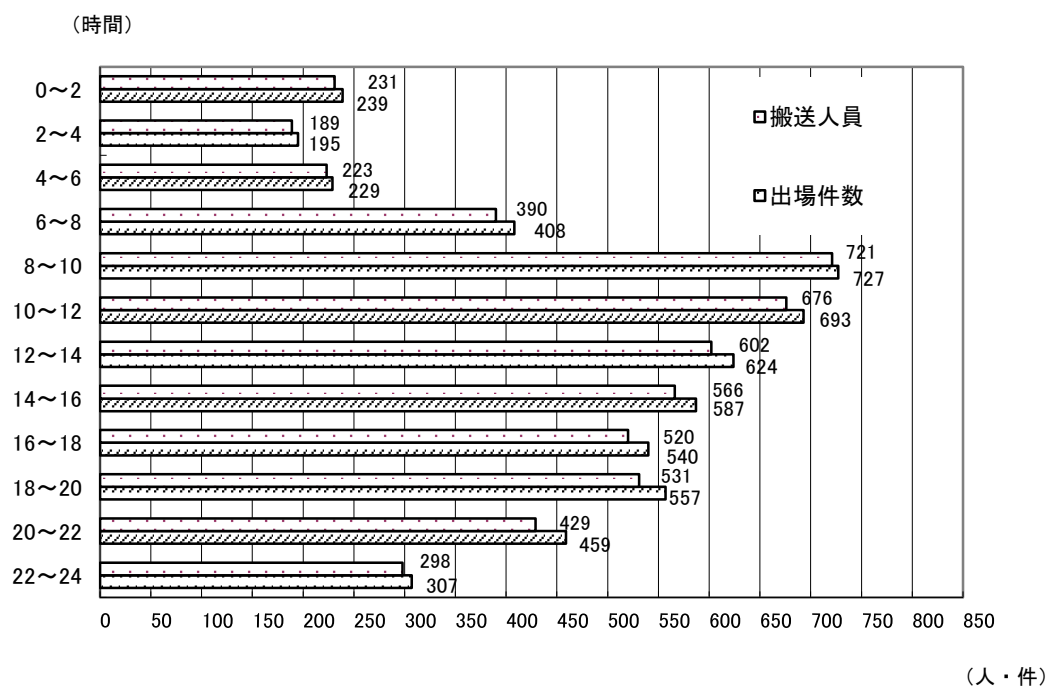


時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,565件及び搬送人員5,376人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は8時から10時の時間帯が727件と最も多く、次いで10時から12時と12時から14時になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の195件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

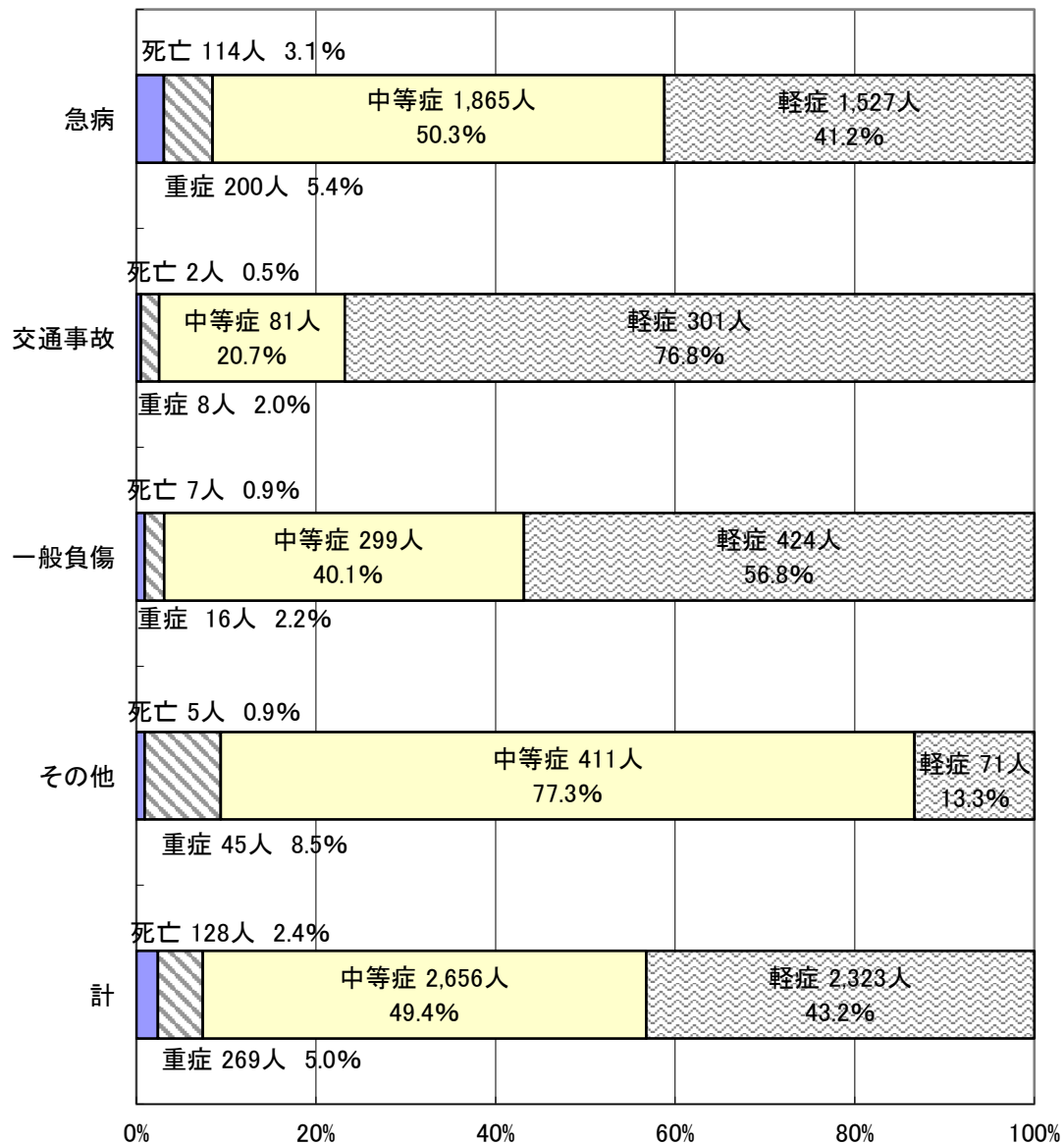


傷病程度別搬送人員

搬送人員 5, 376 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、中等症が 2, 656 人と最も多く、次いで、軽症、重症、死亡の順となっている。

事故種別による軽症割合は、交通事故が約 76.8% と最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

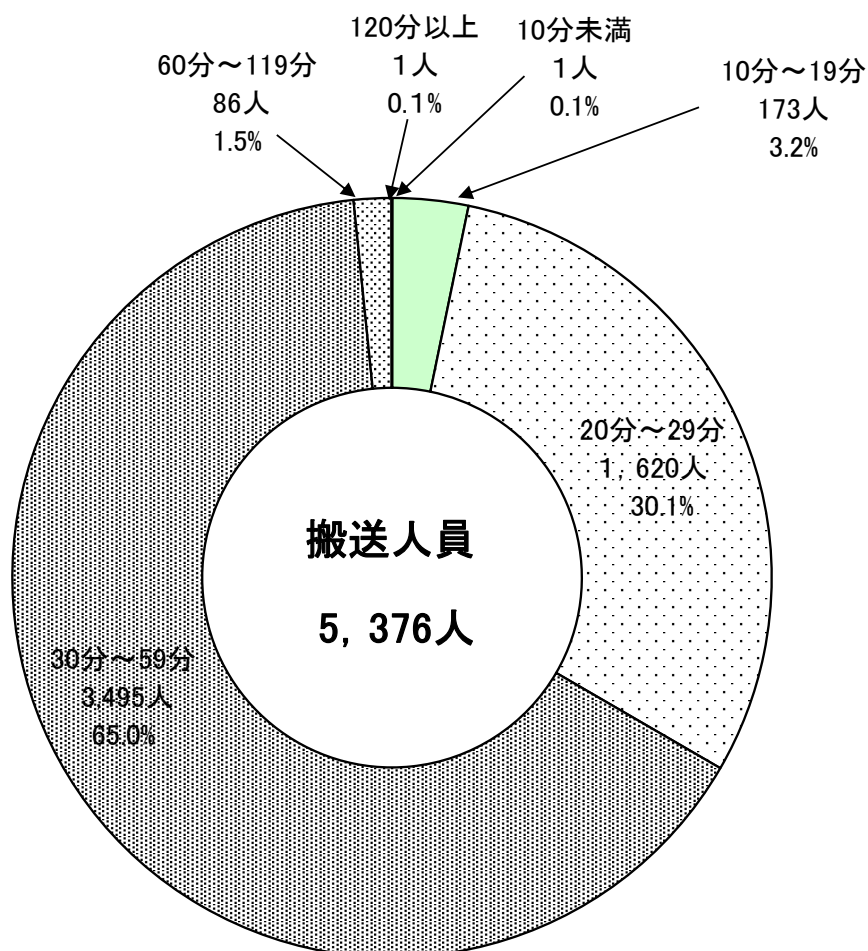


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 5,376 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の 3.3% が 20 分未満で病院に収容され、33.4% が 30 分未満で収容されている。しかし、30 分以上は 66.6% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況



曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数 5, 565 件及び搬送人員 5, 376 人を曜日別に見ると、第 8 図のとおりである。

出場件数は、木曜日が 861 件と最も多く、次いで月曜日、水曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の 701 件となっている。

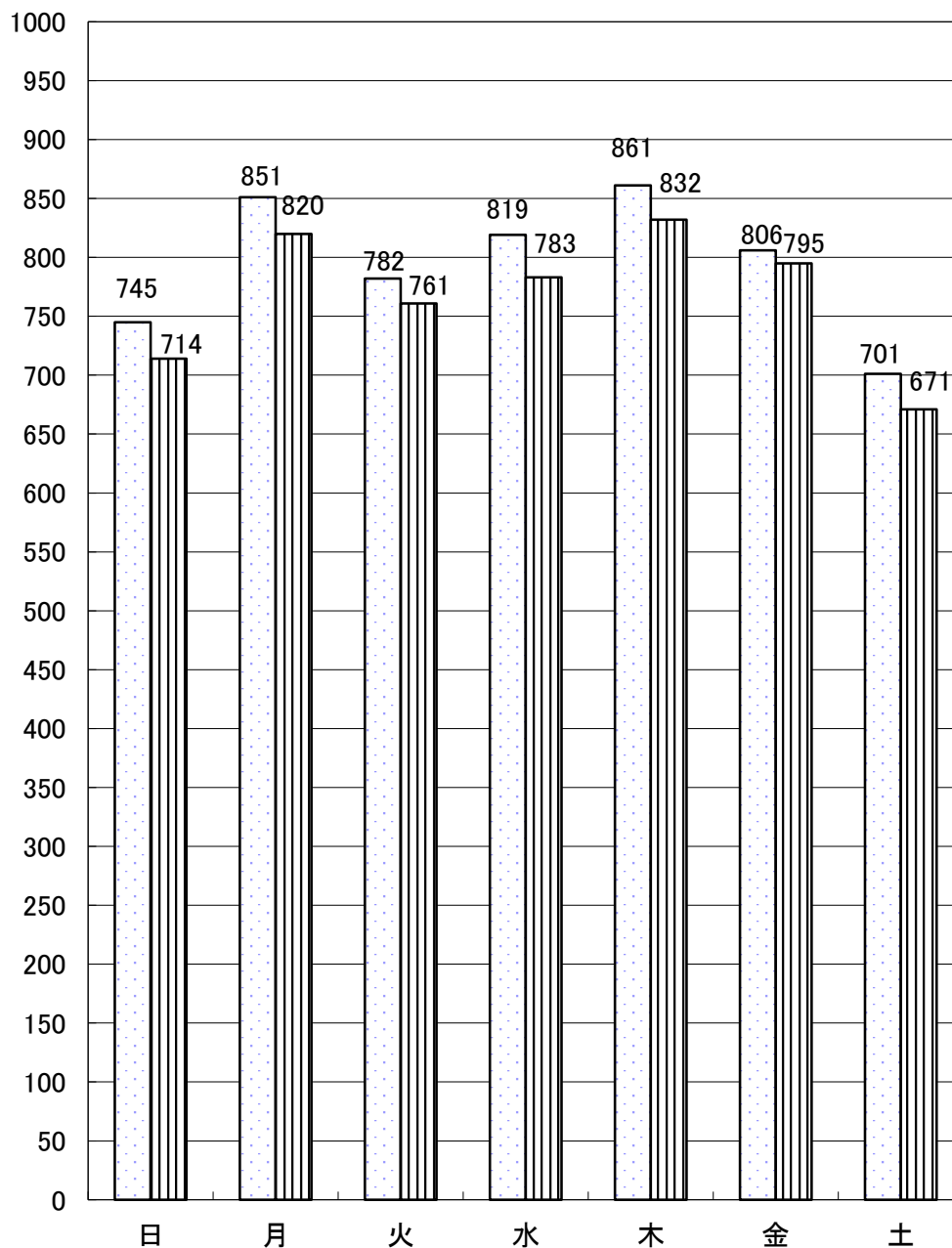
搬送人員は、木曜日が 832 人と最も多く、次いで月曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の 671 人となっている。

(件・人)

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員

□ 出場件数

▣ 搬送人員



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は57件で、前年の71件と比較すると14件減少している。

出動件数を事故種別で見ると、その他の事故が31件（54.4%）で最も多く、次いで交通事故が20件（35.0%）となっている。

救助活動件数は23件であり、この活動により25人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、その他の事故が12人で全体の48.0%を占めている。

第1表 救助出動及び活動状況

(件)

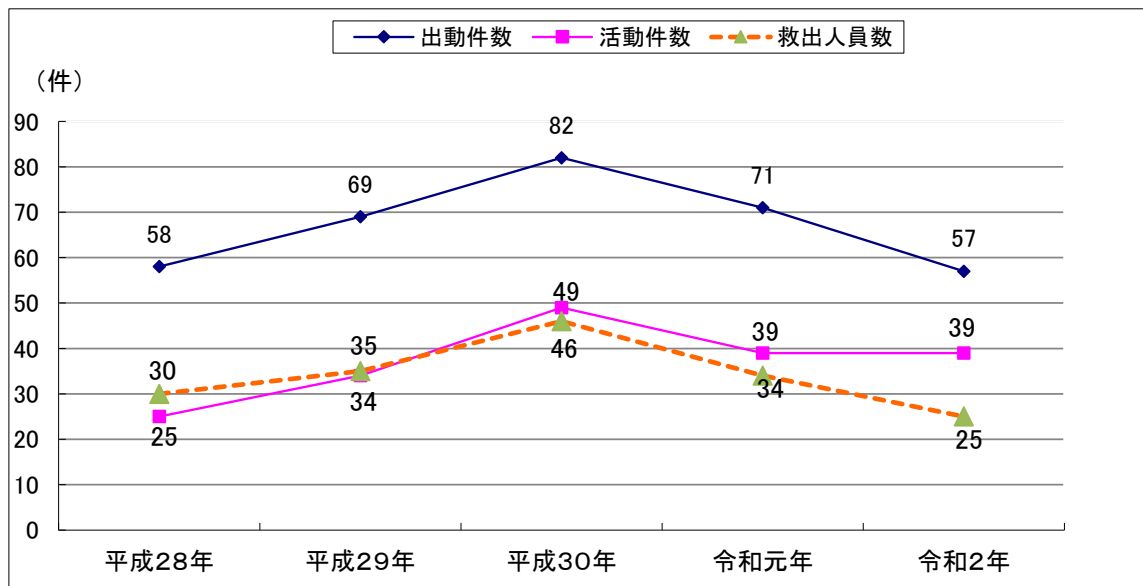
署別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	令和元年	3	7		1	1			13	25
		令和2年		9	2					5	16
	活動件数	令和元年	3	4		1	1			6	15
		令和2年		5	1					2	8
	救出人員	令和元年	1	4		1	1			6	13
		令和2年		7	1					2	10
稲沢東分署	出動件数	令和元年	1	8		1		1		15	26
		令和2年		4		1	1			12	18
	活動件数	令和元年	1	4		1		1		7	14
		令和2年		1			1			5	7
	救出人員	令和元年	1	4		1		1		5	12
		令和2年		1			1			5	7
祖父江分署	出動件数	令和元年		6						4	10
		令和2年		4	2					8	14
	活動件数	令和元年		5						2	7
		令和2年			1					3	4
	救出人員	令和元年		6						1	7
		令和2年			1					3	4
平和分署	出動件数	令和元年		5	1					4	10
		令和2年		3						6	9
	活動件数	令和元年			1					2	3
		令和2年		2						2	4
	救出人員	令和元年								2	2
		令和2年		2						2	4
合計	出動件数	令和元年	4	26	1	2	1	1	0	36	71
		比率(%)	5.6	36.7	1.4	2.8	1.4	1.4	0.0	50.7	100
		令和2年	0	20	4	1	1	0	0	31	57
		比率(%)	0.0	35.0	7.0	1.8	1.8	0.0	0.0	54.4	100
	活動件数	令和元年	4	13	1	2	1	1	0	17	39
		令和2年	0	8	2	0	1	0	0	12	23
	救出人員	令和元年	2	14	0	2	1	1	0	14	34
		令和2年	0	10	2	0	1	0	0	12	25

過去5年間の救助出動件数の推移を見ると、第1図のとおり平成30年の82件が最も多く、次いで令和元年の71件となっている。

救助活動件数を見ると、平成30年の49件が最も多く、次いで令和元年及び令和2年の39件となっている。

救出人員数を見ると、平成30年の46人が最も多く、次いで平成29年の35人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した57件を署別で見ると、第2図のとおり稲沢東分署が18件（32%）と最も多く、次いで本署が16件（28%）となっている。

第2図 署別出動状況

